

# ひびき通信

平成 27 年  
3 月 版

## 安全、安心、らくらくを実感

### ボディメカニクス講座 Part2



「なるほど」「すごい」  
ベッド上での水平移動の介助法を学ぶ

ボディメカニクス介助法を学ぶ講座がこのほど、在宅サポートセンター生田で開催されました。昨年十二月のセミナーでは、移乗介助の基本を学びましたが、今回のセミナーは、ベッド上の介助をテーマに開催しました。

ボディメカニクスとは、人間の運動機能である骨や関節、筋肉の相互の力学的な関係を活かした介助技術で、介護の現場では、人の自然な動きを引き出しながら、安全で負担の少ない介助を可能にする技術のことを言います。

講師を担当したのはコアハ

ート・カレッジの宿合聡さん、高野裕子さんの二人。この日のセミナーには、介護職など二十八名が参加しました。セミナーでは、初めに前回の講座で学んだ、立ち上がり介助を復習した後、ベッド上の介助方法を学びました。

大きな負担となり腰を痛める要因となっているのが、横になって利用者を水平にベッド端に移動したり、上方に移動する介助です。セミナーでは、講師の二人から、床ずれが発生する肩甲骨や仙骨部、大点子部に手のひらをあて、ベッドの上を滑らせるように移動する介助法を学びました。

ボディメカニクス  
介助法を学ぶ参加者たち

参加した方々は、講師から手とり足とり指導を受けなが



ベッド端への移動  
介助を練習する参加者  
ら、思いのほか簡単に移動できるボディメカニ

### 節分で豆まき

クス介助法に「すごい」と声をあげるなど、「目からウロコの介助法」に何度もトライしていました。

## 外は鬼 内は福



### デイサービスとグループホーム

二月三日の節分の日、デイサービスとグループホームに赤鬼が登場しました。写真。男性職員が扮する赤鬼の突然の登場にご利用者たちはビックリ。「金棒」の代わりにバットを持ち、「うおー」と雄叫びを上げる赤鬼に、ご利用者たちは夢中で豆を投げつけていました。退散する赤鬼に、「今年も福は内、福は内」と笑顔を見せていました。

## 外部評価の訪問調査が行われました

グループホーム響でこのほど外部評価の訪問調査が行われました。外部評価は平成十四年から定期的に実施されているもので、介護

サービス全般について第三者が評価。また、家族のアンケート調査なども行われ、スタッフの対応なども評価の対象となります。今回の訪問調査では、サービス

### グループホーム響

の内容、質に対して高評価をいただきました。具体的な評価結果は二カ月後に公表されることになっています。

## センター全館の消防設備点検を実施 異常なしを確認しました

在宅サポートセンター生田の消防設備点検がこのほど行われました。当センターは、火災を感じた際、自動的に消防署へ連絡が入る火災報知システムを導入しています。点検では、一階のデ

イサービス、二階のグループホームをはじめ、倉庫や会議室など全館に設置されている煙感知器、熱感知器の作動と消防署への通報システムの状態をチェック。異常のないことを確認しました。